



高速しが

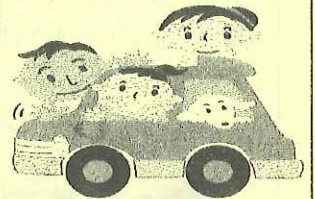
平成28年
5月号

発行 滋賀県高速道路交通安全協議会・滋賀県高速道路交通警察隊

行楽期の

交通事故防止

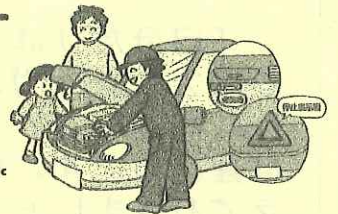
大型連休の行楽期には、レジャーや帰省等に伴う車両集中により、例年各地では渋滞が発生します。渋滞に巻き込まれると、否応なしに長時間の運転を強いられることから、疲労が蓄積しイライラや眠気を原因とする追突事故が多発しています。家族・友人との楽しい時間が、交通事故によって台無しにならないよう、次のことに十分注意しましょう。



交通事故防止のために

1 車の点検は済みましたか？

☆燃料、ワイパー、ブレーキ、タイヤ、各種の灯火類、停止表示板、発煙筒など、しっかり点検しておきましょう。

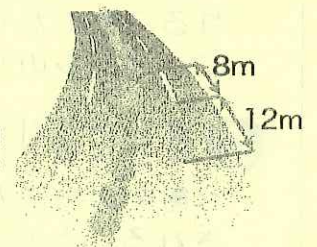


2 道路交通情報を確認しましたか？

☆国道や高速道路など、利用する道路の事故や渋滞情報は出発前に確認し、余裕を持った計画を立てましょう。

3 スピードは控えめに、車間距離は十分にとりましょう。

☆渋滞は必ず起きるものです。イライラがスピードの超過や前車との車間距離を詰める危険な運転を招きます。常に速度と車間距離に注意し、安全運転を心がけましょう。



4 疲れを感じる前に休憩を取りましょう。

☆渋滞の中や慣れない道路での運転は思った以上に疲れます。疲れを感じていなくても「2時間走ったら休憩」をとりましょう。眠気を感じたら我慢しないで、速やかに最寄りのSA・PAに入り休憩を取りましょう。



事故・故障等で高速道路上に停止したときのお願い

- ★後続車にハザードランプ、発煙筒、停止表示板で合図する。
- ★110番などは、ガードレールの外など安全な場所へ避難後通報する。
- ★絶対に道路上で話し合いをしたり、歩き回らない。

シートベルト 忘れずに全席着用！

平成27年におけるシートベルトの着用率は、運転席および助手席ともに90%を超えていますが、後部座席の同乗者の着用率は、一般道で35.1%、高速道路等で71.3%で、運転者、助手席同乗者に比べ低い状態でした。

シートベルト非着用者が車外放出され死亡した割合は、運転席12.9%、助手席16.7%、後部座席30.5%と、運転席、助手席に比べ後部座席の死亡率が高くなっています。(以上平成27年警察庁統計資料から)

シートベルトはあなたを守る命綱です。

自動車に乗ったら必ずシートベルトを着用しましょう。

後部座席シートベルト非着用の危険性

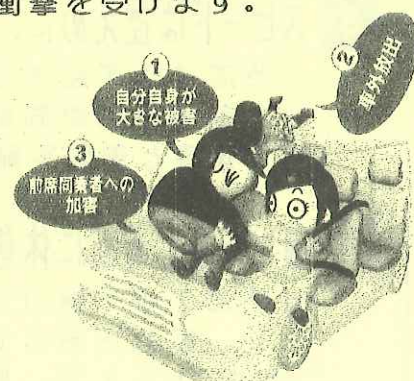
「自分だけは大丈夫」「後部座席だから必要ない」「事故に遭ってもそんなに大きなケガなどしないはず」などと思っているアナタ・・・それは大きな間違いです。事故に遭ってから「あのとき着用してれば良かった」では遅いのです。事故に遭ったときあなたに襲いかかる3つの危険について覚えておきましょう。

① 車内で全身強打する可能性があります。

事故の衝撃で、あなたはすさまじい力で前席や天井、ドア等にたたきつけられることとなります。仮に、時速90kmで進んでいる車が壁等に激突した場合、32m（ビルの10階相当）の高さから落下するのと同じ衝撃を受けます。

② 車外に放り出される可能性があります。

衝突の勢いが激しい場合、後席から車外に放り出されることがあります。車外に放り出されると、堅いアスファルトに体をたたきつけられたり、後続車両にひかれることで、最悪の場合は命を落としてしまいます。



③ 前席の人が被害を受ける可能性があります。

衝突の勢いで後席の人が前方に投げ出されると、前席の人はシートとエアバッグではさまれ、頭に大けがを負うなどにより命を奪われることもあります。



子供にはチャイルドシートを着用させましょう